

WIDEX TV PLAY™

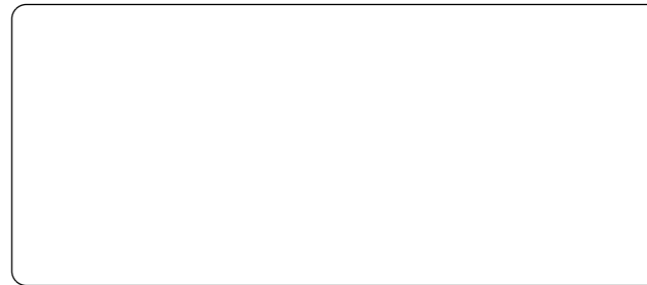
STAY CONNECTED

USER INSTRUCTIONS TV PLAY



GB
JP
DE
FR
ES
PT
IT
NL
DK
NO
SE
IS
FI
PL
CZ
CN
TW
KR
TH
VN
MY
US

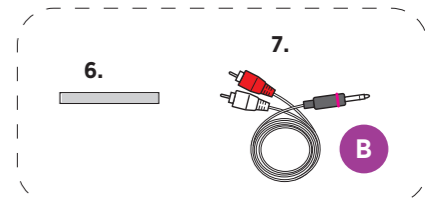
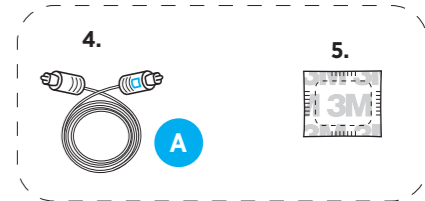
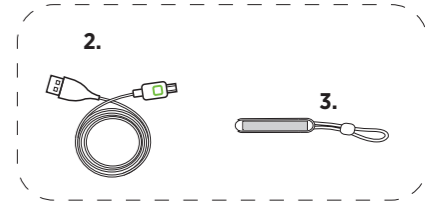
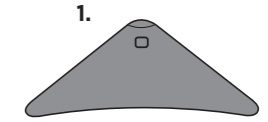
WIDEX
HIGH DEFINITION HEARING

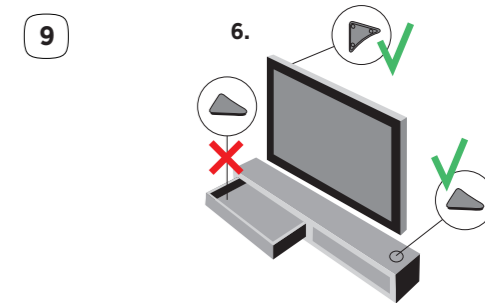
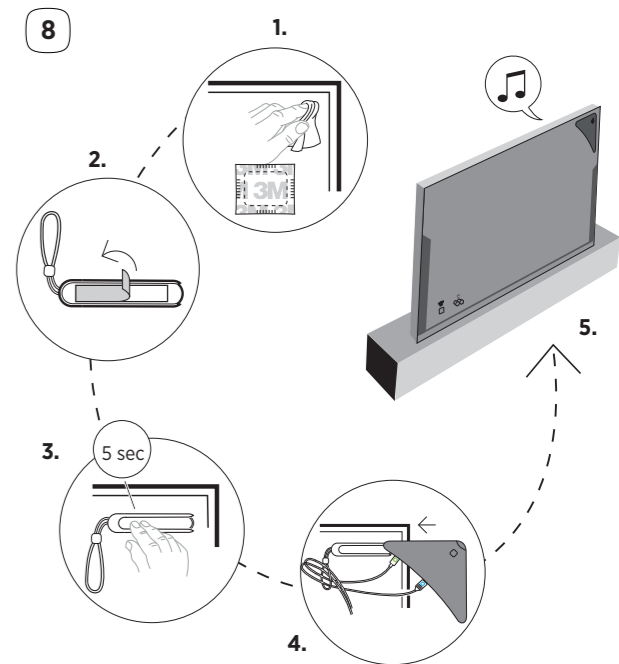
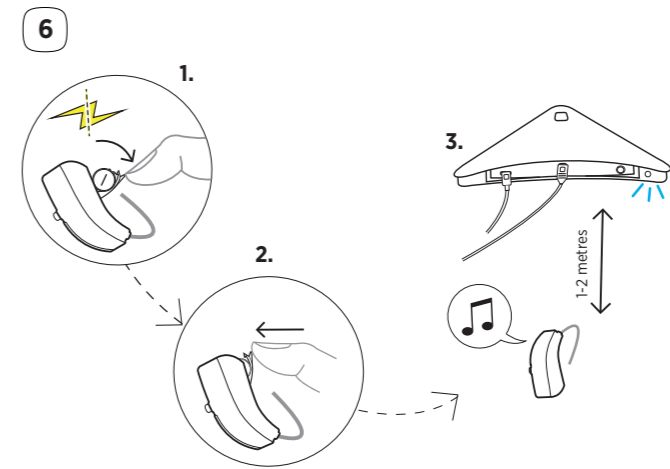
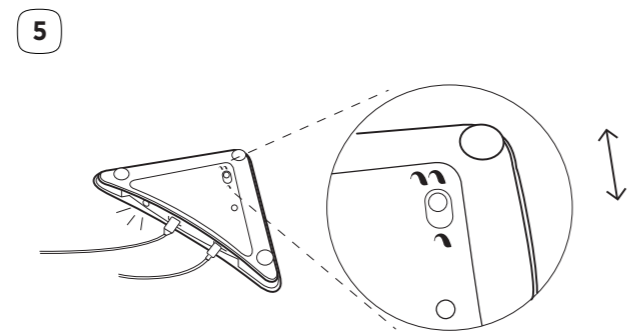
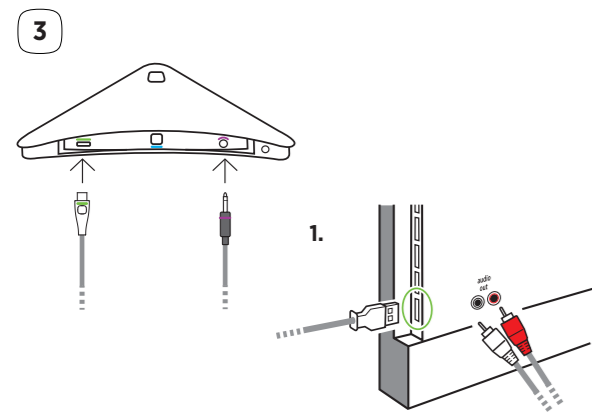
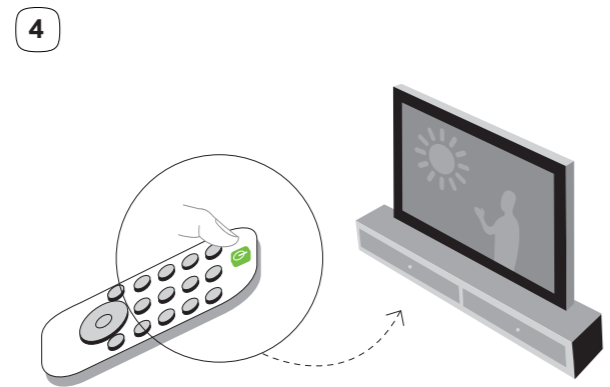
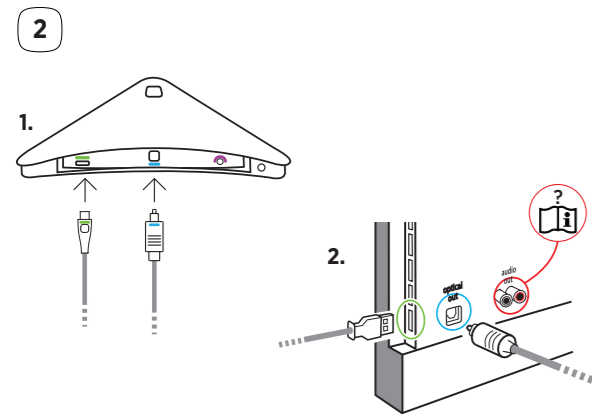


WIDEX A/S Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngby, Denmark
<http://global.widex.com>

Manual no.:
9 514 0419 088 #01
Issue:
2018-09

1





ようこそ

新しい音声転送装置をご購入いただきありがとうございます。

内容物一覧 - 図 1 を参照

1. 装置
2. マイクロ USB ケーブル
3. ケーブルホルダーを使用したブラケットの取り付け
4. 光学 (Toslink) 音声ケーブル
5. お手入れ用小袋
6. 予備の取付用両面テープ
7. アナログ音声ケーブル (音声ミニジャック)

付記

本装置をご使用になる前に、この小冊子および補聴器の取扱説明書をよくお読みください。

用途

本装置は、対応する補聴器にテレビの音声を転送する無線音声送信機です。

重要な安全情報

本装置をご使用になる前に、このページをよくお読みください。



本装置は、3歳未満のお子様の手が届かない場所に保管してください。



屋外では装置を使用しないでください。



ご自分で分解または修理しようとししないでください。修理が必要な場合は販売店にご相談ください。



本装置は直射日光を避けて保管し、熱くなる可能性のある機械類の近くには置かないでください。



テレビまたは USB 壁コンセント用充電器は、IEC 60601-1、IEC 60950-1、IEC 62368-1 あるいは同等の安全規準に準拠している必要があります。

本装置の保管と輸送は、温度 $-20^{\circ}\text{C}\sim+55^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim131^{\circ}\text{F}$)、
相対湿度 10%~90%の環境で行ってください。

本装置は、温度 0°C (32°F)~ 45°C (113°F)、湿度 10%~
90% RH、気圧 500~1500mbar の範囲で作動するよう設計されています。

スタートガイド

装置をテレビに接続します。

オプション A：光ケーブルを使用 - 図 2 を参照

音声接続については、最良の音質が得られるよう、光ケーブル (青) を使用して装置をテレビに接続することが推奨されます。

1. 光学ケーブルの両端の保護キャップを外します。
2. 音声ケーブル (青) を、装置の裏側にある対応する"Optical IN"ソケット (青) と、テレビの裏側にある"Optical OUT"ソケットに接続します。

付記

転送幅が短くなる可能性があるため、本装置は引き出しの中に置かないでください - 図 9 を参照。

付記

光ケーブルを使用して装置をテレビに接続する場合、以下のデジタルフォーマットに対応しています：

デジタルステレオ (PCM)

Dolby Audio™

対応する音声フォーマットを選択するため、テレビ、DVD プレイヤーまたはホームシアターシステムを設定する必要がある場合があります。装置は、未対応の音声フォーマットの音声を転送できない可能性があることにご注意ください。

オプション B：アナログ音声ケーブルを使用 - 図 3 を参照

アナログケーブルを使用して装置をテレビに接続することもできます。以下の手順に従ってください：

1. アナログケーブルのプラグ (紫) を装置の裏のソケットに接続します。
2. アナログ音声ケーブルを、テレビの裏にある対応するソケットに接続します。

付記

光ケーブルまたはアナログケーブルを使用して、装置をテレビに接続します。両方使う必要はありません。

付記

両方のケーブルを接続した場合、装置は常に最適なソースを選択します。

装置への電力供給

装置に電力を供給するには、マイクロ USB ケーブルを装置に接続し、もう片方をテレビの裏の USB ソケットに接続します。

テレビの電源をオンにします。

付記

テレビに USB ソケットがない場合、標準の USB 壁コンセント用充電器 (別売) を使用できます。壁コンセント用充電器は、少なくとも 500 mA (2.5 W) の電力を供給できる必要があります。

片耳または両耳の補聴器のために装置を設定 - 図 5 を参照

装置の下部にあるスライダを使って、ご自分のニーズに合わせて装置を設定できます。補聴器が 1 台の場合は片耳設定を、2 台の場合は両耳設定を選択してください。



モノラル音声



ステレオ音声

補聴器と装置のペアリング - 図 6 を参照

テレビの音声転送を開始する前に、装置と補聴器のペアリングを行う必要があります。以下の手順に従ってください：

1. テレビの電源をオンにして装置に電力を供給します (図 4 を参照)、または「装置への電力供給」セクションを参照してください。
2. 電池ホルダーを開閉して補聴器をオンにします。
3. ペアリング中は、補聴器を装置の通信範囲に置いてください (1~2 m)。
4. ペアリングが完了すると、完了を知らせる音が補聴器から聞こえます。

付記

補聴器は、再起動から 3 分後にペアリングモードになります。ペアリングできない場合、再起動が必要となる場合があります。

付記

装置は、2 名以上のユーザーに同時に音声を送るために使用することもできます。この場合、上記と同じペアリング手順を繰り返してください。

ペアリングの解除

ペアリングの解除はアプリでのみ行えます。以下の手順に従ってください：

1. アプリで TV PLAY プログラムを開き、サウンドメニューに移動します。
2. サウンドメニューの右上にある 3 つの点をタップします。
3. ペアリング解除ボタンを押し、ペアリングの解除を確認します。

アプリで装置を使用する - 図 7 を参照

装置の使用

補聴器と装置がペアリングされると、アプリを介して使用できるようになります。テレビを視聴するには以下の手順に従ってください：

1. まず、補聴器と電話とペアリングされていることを確認します。
2. アプリを開き、テレビの視聴プログラムを選択します。テレビの音声聞こえます。
3. テレビの音声の視聴を停止するには、別のリスニングプログラムに変更します。

付記

補聴器を装置とペアリング後に初めてアプリを使う場合、プログラムリストに TV PLAY プログラムが追加されたことを通知するヘルプテキストが画面に表示されます。画面の任意の場所をタップするとこのメッセージは消えます。

付記

アプリ上に TV PLAY プログラムアイコンが表示されない場合、装置と補聴器が正しくペアリングされていません。

テレビの音量調整

アプリ画面の音量スライダを使うと、テレビまたは補聴器の音量を簡単に調整できます。

付記

周辺の音声ではなくテレビの音声中に集中したい場合は、アプリのルームオフ機能を使うことができます。

装置を使用した通話

iPhone をお持ちの場合、通常の電話と同様に通話できます。

Android のスマートフォンをお持ちの場合、装置を使用した通話には COM-DEX が必要です。通話の着信時の手順は以下の通りです：

1. COM-DEX 上のプッシュボタンを押して電話に出ます。

付記

補聴器に通話が転送されない場合、アプリを使って別の聴取プログラムに変更してください。

オプション：テレビの裏に装置を固定 - 図 8 を参照

テレビの右上または左上に装置を取り付けるには以下の手順に従ってください：

1. お手入れ用小袋でテレビの裏面を清掃します。数秒間表面を乾燥させます。
2. 取り付けブラケットの接着テープにある保護ホイルをはがします。
3. テレビの裏に取り付けブラケットの接着テープを押しつけ、5 秒間そのままにします。
4. 取り付けブラケット上のケーブルホルダーにケーブルを通します。
5. 取り付けブラケットに装置をスライドさせ、ケーブルファスナーでケーブルを固定します。

付記

テレビの換気システムに装置を直接取り付けないでください。換気システムの位置はテレビによって異なります。

付記

無線データ送信に悪影響が発生する可能性があるため、装置を引き出しの中に入れてください - 図 9 を参照。

付記

送信範囲が広い場合、装置を目に見える範囲に置きます。

追加情報

メンテナンス

柔らかい乾いた布を使って装置をお手入れするか、柔らかいノズルで装置をバキューム清掃します。

付記

装置を洗ったり、水またはその他の液体に浸さないでください。

LED

LED	意味
明るさが変化する白の点灯	装置の電源を初めてオンにした時、またはリセットした場合に点灯します
各補聴器に青の点滅	装置がペアリング情報を補聴器に送信しています
明るさが変化する青の点灯	リセットボタンを短時間押すと青の LED が点滅し、音声転送が 30 秒間停止します。装置には影響しません
明るさが変化する緑の点灯	装置の電源はオンになっていますが、音声は転送されていません
緑の点灯	装置の電源はオンになっており、音声転送されています
赤の点滅	未知の音声フォーマットです
明るさが変化する赤の点灯	装置が過熱しています。使用前に装置の温度を下げてください
	この LED の点灯は、USB ケーブルが装置に十分な電力を供給していない場合にも発生します
赤の点灯	装置が作動していません。販売店にご相談ください

装置のリセット

装置の裏にリセットボタンがあります。このボタンを 5 秒間押すと装置をリセットできます。リセットされると装置が再起動し、既存のすべてのペアリングが装置から解除されます。

付記

装置のリセット後は、装置と補聴器を再度ペアリングする必要があります。

トラブルシューティング

装置が作動しなくなった、または期待通りに機能しない場合は、このページに記載のアドバイスを参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器からテレビの音声が聞こえない	a.装置と補聴器がペアリングされていない b.装置がテレビに正しく接続されていない c.音声源の電源が入っていない d.補聴器のバッテリーレベルが低下している e.TV PLAY プログラムに補聴器がない f.音量が低すぎる	a.装置と補聴器をペアリングします b.装置がテレビに正しく接続されていることを確認します c.音声源を電源を入れます d.補聴器のバッテリーを交換します e.アプリでTV PLAY プログラムを選択します f.アプリで音量を上げます
他の人がテレビの音声を聞くことができない	a.装置がヘッドフォンジャックに接続されている	a1.接続のセクションに記載の通りにアナログケーブルを接続します a2.テレビの別の出力を使用します a3.テレビの音声設定を確認し、テレビのスピーカーも使えるように設定します
片方の補聴器からしか音が聞こえない	a.片方の補聴器のバッテリーレベルが低下している b.片方の補聴器のみが装置とペアリングされている	a.補聴器のバッテリーを交換します b.新しくペアリングを行います
光ケーブルテレビに接続したが補聴器から音声が聞こえない	a.光出力コネクタで音声を送信するようテレビが設定されていない	a.テレビ音声出力設定（詳細設定）を確認します

問題	考えられる原因	解決策
アナログケーブルをテレビに接続したが補聴器から音声がかえらない	テレビのアナログコネクタは音声入力しかない	a.装置と同梱の音声ケーブルを使用します b.ミニジャックとミニジャックケーブルを使用し、ヘッドフォン端子をテレビに接続します c.テレビが装置に対応していない可能性があります
音量が快適ではない		a.アプリまたはリモコンを使って音声を調整します b.テレビの詳細設定を確認し、音声設定を確認します
補聴器の片方または両方でテレビの音声が途切れる	a.装置が引き出しの中または壁の後ろにある b.装置が通信範囲にない c.他の無線送信装置からの干渉がある	a.装置を目に見える場所に置きます b.装置を通信範囲に置きます c.他の無線送信装置から離します
赤のLEDが点灯し、補聴器から音声が聞こえない	a.装置が過熱している b.テレビが装置に十分な電力を供給できていない	a.装置を直射日光から遠ざけます引き出しに装置を置かず、テレビ裏面の換気システムから離します b.USB経由でテレビに接続されているその他の装置を切断するか、装置を電源ソケットに接続します

問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

規制情報

EU 指令

指令 2014/53/EU

ここに、Widex A/S は、WIDEX TV PLAY が指令 2014/53/EU の基本要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。WIDEX TV PLAY には、以下の条件で動作する無線送信機が搭載されています：2.4 GHz、10.0 mW EIRP。

2014/53/EU に準拠した適合宣言のコピーを以下に掲載します。

<http://global.widex.com/doc>



N26346

処分に関する情報

補聴器やその付属品、電池を通常の廃棄物として処分しないでください。

補聴器やその付属品、電池については、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元へ処分を依頼してください。

記号

医療機器の表示でにより共通して使用される信号（ラベル/IFUなど）

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名前および住所が記号の横に記載されているメーカーにより製造されています。製造年月も記載される場合があります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（重要/注意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ずお読みください。



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読みください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、危険物質があるために環境や人の健康を害するリスクを防ぐため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してください。



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠していません。



電磁波による干渉

製品の近くでは電磁波による干渉が起きる可能性があります。
